

井上わたる

配るホームページ 第89号



無所属



2月定例会では、令和8年度予算をはじめ多くの議案が成立しました。新年度予算の総額は前年度比9.1%増の**2兆4,348億6,500万円**となり、過去最大を更新しました。和光市に関わりのある事業もあるので、是非県政に関心をお寄せください。

TOPIC 1 名前が変わる!?! ネーミングライツの導入について

埼玉県では、令和7年夏以降、23の県営公園でネーミングライツパートナーを募集し、選定委員会の選定により、16公園の名称及び39の公園施設に導入を決定しました。和光市の「**県営和光樹林公園**」にも本年1月から愛称がついています。

ネーミングライツとは「契約により施設に愛称として団体名・商品名等を付与させる代わりに、命名権者から対価(命名権料)を得て、新たな税源を得る取組」のことです。「味の素スタジアム」とか「日産スタジアム」などが有名です。



施設名	愛称	命名権者	命名権料(円・年額・税抜)	愛称の使用期間
公園名称	エミパーク和光樹林	西武緑化管理株式会社	1,000,000	令和8年1月1日から 令和13年3月31日まで
芝生広場		株式会社 HONUA	100,000	令和8年1月1日から 令和13年3月31日まで

Q よく家族で訪れていて「和光樹林公園」という名前に愛着があるのですが、もうその名前ではなくなってしまうのでしょうか?

A いいえ。あくまで“愛称”なので、**正式名称は「和光樹林公園」**のままです。加えて、今回のネーミングライツパートナー2社はいずれも和光樹林公園のことを大切に考えていることが両社のメッセージ(樹林公園のHPに掲載)からも伝わってくるので、是非ご覧ください。



エミパーク 和光樹林 (西武緑化管理株式会社)

西武グループのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」と公園利用者にも「ほほえみ」をお届けしたいとの思いから、公園の名称に「エミパーク」という愛称を加えました。西武緑化管理は、公園施設の魅力の発信を通じて、地域の活性化に貢献してまいります。

HONUA PARK (株式会社HONUA)

和光樹林公園は私たちにとって、子どもと一緒に遊び、季節の移ろいを感じてきた、思い出の詰まった場所です。和光市に根ざす企業として、この大切な公園がこれからも多くの笑顔と出会いを生む場であり続けるよう、「HONUA PARK」として地域に貢献してまいります。

Q 公園の案内看板やチラシなどは、**全部、愛称に取り換えられるのでしょうか。**

こうした看板にも徐々に「エミパーク」の愛称が掲載されることがあるかもしれません



A どこまで変更・取替を行うかはネーミングライツパートナー会社が決めることになっています。大規模な交換には多額の費用が掛かることもあり、例えば看板にシールで愛称を書き加えるケースも多いとのこと。また和光市が設置する看板や発行物についても「和光市の責任で変更しなければならない」「市が費用負担しなければならない」ということではなく、あくまでパートナー会社が市へ協力要請するという形になります。



Q 他にはどんな県有施設でネーミングライツは採用されているのですか？



A 公園以外にも、公共施設の他、調節池や歩道橋などにもネーミングライツは導入されています。



井上の考え

埼玉県としては、今後もネーミングライツを活用し独自財源を得る取組を進める予定です。一方で、「これまでの施設名とあまりにかけ離れた名前になることに抵抗がある」と言ったお声もいただいています。あくまで「愛称」とはいえ、これまで元々の名称で愛され続けてきた歴史や経緯も大切にしなければならぬと考えています。県の施策に行き過ぎが生じないように、しっかり注視してまいります。

施設名	さいたまスーパーアリーナ	広沢原歩道橋	埼玉県防災学習センター	秩父ミュージックパーク
命名権者	GMOインターネットグループ株式会社	紀和建设工業株式会社	能美防災株式会社	埼玉トヨペット株式会社
愛称		 地域と共に育む安全な未来づくり 紀和建设工業(株) 広沢原歩道橋		

TOPIC 2 交通事故対策を進める

和光市では、令和7年9月に2人、11月に1人の方が交通事故で亡くなっています。その他にも重大な交通事故が発生したことから、県は和光市を「交通事故防止特別対策地域」に指定しました。(※指定期間は令和7年11月22日(土)から令和8年2月21日(土)までの3か月間。)これを踏まえて、昨年12月に柴崎光子和光市長、市の道路担当の職員、県議の私とで現場確認を行いました。それぞれの事故状況と進めている安全対策(実施済みの対策、今後予定している対策、及び現在交渉中の対策)をお知らせします。

※なお、県警は交通死亡事故が発生した場合、必ず「現場診断」を行い、今後の安全のために必要とされる対策を検討することになっております。

①新倉4丁目(松之木島交差点付近)

松之木島交差点付近の水道道路(=県道と和光インター線)を自転車走行中、大型貨物車と衝突。自転車の運転手が死亡。



既に実施した対策

区画線を修繕し、ドット線を追加(R8.1.23完了)



③下新倉5丁目(レインボーモータースクール付近)

県道と和光インター線の交差点(※信号機や横断歩道はない)において、乗用車との衝突事故が発生。

今後実施予定の対策

近くの横断歩道を渡るように呼び掛ける看板を設置

②広沢(和光樹林公園の南側)

県営和光樹林公園と都立大泉中央公園を結ぶ横断歩道を渡ろうとした自転車が、新座方面から来た自動車と衝突。自転車の運転手が死亡。



既に実施した対策

「横断歩道あり」の看板を設置。

現在交渉中の対策

押しボタン式信号機の設置を県警に要望しております。



④外環丸山台広場付近の側道

大泉方面に向かう外環側道(県道部分)を走行中のバイクが、追い越し車線(右側車線)を走行中に、信号待ちで停車していたトラックに追突して転倒した際、走行車線(左側車線)を進行中のトラックと衝突。バイクの運転手が死亡。

既に実施した対策

バイクすり抜け注意・禁止看板を2基設置(R8.2.27完了)

今後実施予定の対策

防草対策、低木除去、防草シート等の視距確保対策を予定



井上わたるプロフィール

自己紹介

昭和54年10月1日生まれ。父親の転勤により東京、名古屋、広島、兵庫などで生活。平成7年阪神大震災に被災。当時の政府や自治体の対応に問題を感じ、「人の暮らし・命を守る政治家になる」と決意。妻と長女、長男の4人暮らし。子育てしながら議員活動を行う。

経歴

- 平成14年:立命館大学法学部環境生活法コース卒業
- 平成14年～19年:福祉・医療系人材派遣会社にて介護・看護職の就業支援に携わる。

- 平成19年～23年:和光市議会議員を務める。この年の選挙で「本人」の旗を掲げて駅頭や自転車で活動。以来、和光市における「元祖・本人」の異名をとる。
- 平成23年～:県議会議員として無所属議員の同志と共に活動スタート。
- 平成27年～:県議会議員2期目。会派「無所属県民会議」を結成。政務調査会長を務める。
- 平成31年～:県議会議員3期目。令和元年度には県政史上初の「無所属議員の議運副委員長」を務める。
- 令和5年～:現在4期目。会派「無所属県民会議」代表を務める。



発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail: inoue_airline@yahoo.co.jp